【答え】　【小4】国語　文章問題　説明文 4

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

「かぎはどこに置いたかな。」出かける前に、家じゅうをさがし回った人は多いでしょう。わすれものやさがしものは、どうしたらへらせるのでしょうか。

さがしものがふえるのは、ものを置く場所が決まっていないからです。帰ってきたとき、かぎをつくえの上に置く日もあれば、ポケットに入れたままの日もあります。すると、次に使うとき、どこを見ればよいのかが分かりません。頭の中で、その日のことを一つ一つ思い出さなければならないのです。

そこで、ものごとに「帰る場所」を決めてみましょう。かぎは入り口のフックにかける、ハンカチはつくえの右の引き出しに入れる、というように決めておくのです。そうすれば、さがすときに思い出す必要はありません。決めた場所を見に行くだけですみます。

ただし、決めた場所がつかいにくいと、長つづきしません。遠い所や、あけるのに手間がかかる所だと、ついそのへんに置いてしまいます。帰る場所は、そのものを使う所の近くで、かんたんに出し入れできる所にするのがこつです。

ものの帰る場所を決めることは、自分の頭の中を少し軽くすることでもあります。覚えておかなければならないことがへれば、そのぶん、ほかの大切なことに頭を使えるようになるのです。

（この問題のための書き下ろし）

問一　さがしものがふえるのは、何が決まっていないからですか。「〜が決まっていない」につづくように、本文から十字までで書きぬきましょう。

ものを置く場所

問二　「ものごとに『帰る場所』を決めてみましょう」とありますが、「帰る場所」とはどんな場所のことですか。いちばんあうものを、ア〜ウから一つえらびましょう。

ア　家の人が、外から帰ってくる入り口。
イ　そのものを、いつも置いておくと決めた場所。
ウ　わすれものを、学校にとどけておく所。

イ

問三　ものを置く場所を決めておくと、なぜさがしやすくなるのですか。「思い出す」という言葉を使って、三十五字までで書きましょう。

思い出さなくても、決めた場所を見に行くだけですむから。

問四　筆者が最後のまとまりで言いたいことは何ですか。いちばんあうものを、ア〜ウから一つえらびましょう。

ア　かぎは、いつもポケットに入れておくのがいちばんよい。
イ　わすれものをしないように、毎日かばんの中を何回も見るとよい。
ウ　ものの帰る場所を決めると、覚えることがへって、頭をほかの大切なことに使える。

ウ

【小4】国語 文章問題　説明文 4　答えと解説

問一（二十五点）　答え：ものを置く場所

解説：二つ目のまとまりの最初の文から。

問二（二十五点）　答え：イ

解説：すぐあとの「かぎは入り口のフックにかける」などの例から、ものをいつも置く場所のことだと分かる。

問三（二十五点）　答えの例：思い出さなくても、決めた場所を見に行くだけですむから。

解説：三つ目のまとまりの最後の二文から。「思い出さなくてよい」と「見に行くだけ」の二つが入っていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①その日のことを思い出す必要がない

②決めた場所を見に行くだけでよい

問四（二十五点）　答え：ウ

解説：最後のまとまりの二つの文から。アは本文と反対。イは本文に書いていない。